

## 印刷の将来像示す

### 11 機種で多彩な提案 盛況のオープンハウス

(株) ミヤコシ (本社・千葉県習志野市、宮腰巖社長) は 11 月 27 日から 29 日までの 3 日間、同社 POD 事業本部のクリーンルーム/デモルームで、最新のデジタル印刷機を取り揃えたオープンハウスを開催した。会期中、国内のみならず欧米・アジア各国から約 1500 人の来場者が訪れたこのオープンハウスでは、drupa2012 で新発表して世界中から注目を集めた機種をはじめ、新聞印刷、ラベル印刷、商業印刷、軟包装・パッケージ印刷、テキスタイルなどの分野に向けたモデル、計 11 機種を出展し、現時点においてデジタル印刷が実現しうる最先端技術とアプリケーションを紹介するとともに、印刷業界の将来像を提示した。

今回のオープンハウス開催に際し、同社の宮腰亨専務は次のように開催のねらいを述べた。

「drupa2012 に出展した 2 機種の新製品を日本で初公開し、drupa に来られなかった方にも披露できて嬉しく思う。また、これまでのデジタル印刷機の用途はデータ処理やトランザクションがメインだったが、品質および生産性の向上に努めてきた結果、それ以外のアプリケーションにも使ってもらえる可能性が出てきた。そこで今回、その可能性を持ったモデルを一堂に集めてアピールすることにした。

商業印刷、ラベル、パッケージなどデジタル印刷で製作できるアプリケーションの幅を広げるとともに、それらの生産ボリュームに応じた機種選択もできるようにラインナップを整えた。産業用インクジェット印刷機のパイオニアとして開発してきたこの幅広いデジタル印刷機のラインナップと各種後加工技術をもって、来場した印刷会社のみなさんが目指すビジネスに適した提案をすすめていく」

今回のオープンハウスでの大きな見どころの 1 つとなったのが、drupa2012 で新発表して世界中から注目を集めたフルカラーインクジェットプリンター「MJP20MX-7000」だった。

国内初披露となったこの「MJP20MX-7000」は、高生産性と高品質を両立すべく、

▽最高で毎分 320m という超高速印刷処理

▽最大 1200×1200dpi の高解像度

▽片面あたり最大 8 色ずつの両面印刷

▽下地処理をせずにコート紙へ直接印刷ができる新開発の水性顔料インク

といった能力を備えた、ロール to ロールの次世代型インクジェット印刷機で、高速インクジェット印刷機に対して長年求められてきた、商業印刷レベルの印字品質とインクジェット専用紙以外への印字適性を実現した。高解像度と最大 8 色のフルカラー印刷により、表現できる階調と色域を大幅に広げ、これまで対象とならなかったアプリケーションを取り込むことも可能としている。

そのほかの主な出展機は次のとおり。

## 【ラベル印刷向け】

### ▽フルカラーインクジェットプリンター「MJP13LX-2000」

少量多品種化が進むラベル印刷市場に向けたモデル。13インチ幅（最大印字幅 318mm）に 1200×1200dpi の高解像度および最大 8 色の印刷で、商業ラベル印刷に求められる品質を実現。また、ラベル用プリンターでは最高速度となる毎分 50m を実現し、小ロット生産における主力機として使える高生産性を整えるとともに、水性顔料インク採用によるランニングコスト低減も図れる。アンカー剤をプレ塗工することなくラベルへの印刷が可能で、従来のデジタル印刷機では難しかったミラーコート・キャストコート紙にも印刷可能。加工部はマグネット式ダイカットロールおよびカス巻き上げ装置を標準装備。ラミネート、ニスコーティングなどの付加価値機能についても拡充予定。

### ▽レーザー加工機「MSP13A-1000」

ラベル市場の短納期・小ロット化を受けて開発された、さまざまなパターンのバリアブル加工ができる刃型不要のレーザー加工機。最大加工幅 330mm、最高速度は毎分 10m でハーフカット、全抜きにも対応。操作パネルはタッチスクリーン方式を採用し、運転操作・サイズ入力・レーザー出力設定を一貫操作できるため従来機よりもスキルレスで生産効率も大きく向上。ラベル用インクジェットプリンターに組み込んで、バリアブル印刷と加工のインライン化も実現できる。

### ▽LED-UV採用スリーブ式オフセット印刷機「MHL13A-3000」

独自の新技术クイックチェンジ式メタルスリーブ（特許申請中）を採用した可変式スリーブオフセット輪転機。連続式輪転機でありながらジョブチェンジのダウンタイムを大幅に短縮することで、オフセットの高品質と間欠式の高生産性を兼ね備えている。また、LED-UV 搭載により、フィルムなどの熱に敏感なメディアへの印刷も可能にするとともに、低臭乾燥・省電力化による環境負荷低減も目指している。印刷最高速度は毎分 100m で、最大印刷幅 330mm、印刷長 381～609mm

## 【商業印刷・パッケージ印刷向け】

### ▽液体トナー方式電子写真プリンター

#### 「Miyakoshi Digital Press 8000」

drupa2012 に出展した B2 判（最大用紙サイズ 788×600mm）の枚葉デジタル印刷機で、この方式で世界最速となる B2 判カラー毎時 6000 枚のスピードを実現。オフセット枚葉印刷機の用紙搬送技術を受け継いでいることから、通常のデジタル印刷機にはない 0.4mm までの厚紙への印刷もできるので、商業印刷やパッケージ印刷での活用も見込まれる。

（2012 年 12 月 17 日 日本印刷新聞 掲載）